

とまふ

議会広報

平成30年5月発行



トマム学校となり9年生初めての卒業式

No.
153

●第1回 定例会 各会計補正予算・条例改正など

〈一般質問〉4議員

高齢者や障がい者に優しい占冠駅・トマム駅を
占冠地区の集落対策／避難道路の建設
クラブメッド・トマムの開業

●村政執行方針・教育行政執行方針

●予算特別委員会

●議会の主なうごき

第1回 定例会

リゾナーレ(旧ガレリア)他 3件の譲渡が成立 (3月28日)

条例等の制定・改正

●財産の減額譲渡

リゾナーレ、タワー1(共有持分)ほか2件を減額譲渡するものです。

●質疑

問 村民に分かりやすく周知していただければと思いますが、伺います。

(大谷議員)

三浦企画商工課長 今回の減額譲渡につきましては平成29年1月23日に締結された調停条項の



リゾナーレトマム

平成30年第1回定例会は、3月8日から14日まで7日間の会期で開催され、一般質問、村政・教育行政執行方針の説明・質疑を行いました。また、条例の制定・改正や、平成29年度各会計補正予算等の審議が行われ原案どおり可決しました。

平成30年度各会計予算については予算特別委員会に付託し、13日に審査・可決されました。

(傍聴8日4人 9日0人 12日0人 14日0人)

履行によるものです。

調停条項については全村的に行政区回覧をして十分に周知しましたので、履行後についてまで改めて回覧等をする予定はありませんでした。今後、周知等について検討していきたいと思っています。

伊藤保健福祉課長

介護医療院

とは、日常的な医学管理や看取り、終末ケア等の医療機能と生活施設としての機能を兼ね備えた長期療養を目的とした介護保険施設です。

その他の以下について、審議され全会一致で可決されました。

●財産の減額貸付

●指定管理者を指定(湯の沢保養施設)

●指定管理者を指定(トマム給油所)

●指定管理者を指定(占冠村自然活用村)

●指定管理者を指定(占冠村小規模多機能型居宅介護施設)

●占冠村課設置条例等の一部改正

●占冠村個人情報保護条例の一部改正

●質疑

問 条例改正にある介護医療院とはどういうものか伺います。

●占冠村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

●占冠村保健事業検診受診料徴収条例の一部改正

●占冠村国民健康保険条例の一部改正

●占冠村後期高齢者医療に関する条例の一部改正

●占冠村介護保険条例の一部改正

●占冠村介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部改正

●占冠村営住宅寒地条例の一部改正

●占冠村介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部改正

平成29年度補正予算

●質疑

問 学校林処分収入199万2千円の増額は、どの学校林を処分したのか伺います。

(大谷議員)

岡崎教育次長

学校林処分収入の場所は、スキー場の奥の中学校林で、国有林1257イ林小班です。

問 国際交流基金積立金199万

第1回 定例会

平成29年度 補正予算

～ 第1回定例会 ～

一般会計（第8号）	
5050万円減	
総額25億9890万円⇒25億4840万円	
・調査・測量・設計委託料の減など	
国民健康保険（第4号）	
420万円減	
総額1億9730万円⇒1億9310万円	
・保険財政共同安定化事業拠出金の減など	
診療所（第2号）	
・科目振替	
簡易水道（第5号）	
90万円増	
総額1億1090万円⇒1億1180万円	
・給水使用料の増など	
公共下水道（第2号）	
290万円減	
総額1億400万円⇒1億110万円	
・一般職給料の減など	
介護（第4号）	
800万円減	
総額1億1450万円⇒1億650万円	
・施設介護サービス等給付費の減など	
歯科診療所（第1号）	
120万円増	
総額2170万円⇒2290万円	
・診療所備品購入費の増など	

問 占冠木質バイオマスコン

問 諸費の修繕料150万円の増額と、工事請負費の中央地区避難路補修工事216万円の減額理由を伺います。（大谷議員）

2千円の増額の理由を伺います。（大谷議員）

再問 湯の沢温泉（株式会社スポートピア）から負担金は取ら

問 木質バイオマスコンソーシアムの構成員を伺います。（長谷川議員）

三浦課長 修繕等につきまして、村からコンソーシアムに補助金を出して修繕するという形になっていまして、増額理由はボイラーの修繕料です。

【特別会計】
《簡易水道会計》
問 新営改良費の委託料と工事請負費の減額について、どこの浄水場か伺います。（大谷議員）
小林課長 浄水場監視システム他電気更新工事の設計委託料



湯の沢温泉

松永副村長 運営の経費については湯の沢温泉が基本的に負担していますので、負担金をもらうということはありません。村が湯の沢温泉に指定管理料を払った中で運営自体は行われています。（長谷川議員）

①旭川信用金庫との包括連携協定について
3月1日、旭川信用金庫との包括連携に関する協定の調印式を行いました。
旭川信用金庫は、村の指定金

追加議案
●富良野広域連合議会議員の選挙
山本議員に代わり、長谷川議員が選出されました。
●平成29年度占冠村一般会計補正予算（第9号）
3月1日から2日に起きたトマム地区の雪害による除排雪費用の増加です。

村長の行政報告
融機関として、地域の商工業の振興において重要な役割を担っています。協定のもと、金融面だけでなく地方創生、災害時における協力支援等より幅広い面において連携協力を行っていきます。
②暴風雪対応について
トマム地区で、1日午後から風雪が強まり、道道及び道東自動車道が通行止めになった影響で、一時孤立状態に陥り、中トマムから下トマムにかけて300台以上の車両が滞留する事態が発生しました。
一時避難所への避難状況は、トマムコミュニティセンター8名、総合センター3名、消防占冠支署1名です。
この度の暴風雪で、停電、地域住民の避難はありませんでしたが、風雪による車両の立ち往生が発生し、その対応について、道路管理者及び警察と村との情報共有などの連携が課題であると強く認識いたしました。
今後とも予想される様々な気象・災害状況を想定した対応について、万全を期してまいります。

高齢者や障がい者に優しい 占冠駅・トママ駅を



五十嵐正雄議員

1 高齢者や障がい者に 優しい占冠駅・トママ駅を

問 両駅での跨線橋を渡ったの列車の乗り降りは、高齢者や障がい者、大きな荷物を持った旅行者にとつては大変きつい状態になっています。1番ホームだけを kullanarak、上下線の列車の乗り降りをすれば跨線橋を渡らないで利用することが出来ます。JR北海道に対して、強力に要請すべきと考えますが村長の考えを伺います。

田中村長 去る11月10日にJR北海道の専務、駅業務部、工務部、地域交通改革部との意見交換を含めて3回ほど要望を申し上げてきました。

片側乗降につきましては、トママ駅については、時期は未定であるものの今後のダイヤ改正に合わせて対応が可能であるとの回答がJR北海道からされています。占冠駅については、ポイントの切り替えのみで対応することができず、設備の改修が必要なことから実施は現状難しい旨の回答を受けております。

問 地域では、占冠駅に椅子用座布団を設置したり、造花を飾ったりして駅利用者が気持ちよく利用できるような取り組みもできています。これらの動きを受けて、1番ホームだけを使用し、JR北海道をはじめ、関係機関に要請すべきと思いますが村長の考えを伺います。

田中村長 ボランティア活動を含めて占冠駅の利用向上に向けて努力されているという現状を見ますと、なんとしても利用・利便性の向上のためにJR北海道を初め、北海道運輸局など各関係機関に対して要請していきます。



JR占冠駅構内の椅子用座布団

2 公共施設の地域材活用を

問 「占冠地域材利用推進方針」が平成25年5月1日に施行されました。方針では、公共建築物については可能な限り木造化・

木質化を図ることとなっています。占冠保育所の新築に向けた設計が今年度から始まりますが、設計にあたって「占冠地域材利用推進方針」がどのように生かされるのか村長の考えを伺います。

田中村長 「占冠地域材利用推進方針」では、建築材料としての地域材の利用促進、木製品導入の促進、森林バイオマスの利用の促進などの公共施設における地域材の利用促進のための具体的な方向性が示されています。コスト面の問題もありますが、可能な限り地域材の導入・活用を図っていきます。

問 保育所の設計または建築にあたっては、北海道産材の利活用の向上に向けて試験研究を進めている林産試験場のアドバイスを受けながら取り組んでいく必要があると思いますが、村長の考えを伺います。

田中村長 地域材の利活用については、道産材の集材利用などのノウハウを有する林産試験場の協力も必要と考えています。木造化、内装材の木質化をする場合、林産試験場へ担当者派遣して、アドバイスを受けながら進めていきます。設計・

建築にあたっては、庁内各課室の連携を強化して進めます。

問 地域材の確保については、乾燥や製材を考えた場合、できるだけ早く用意することが必要です。村長の考えを伺います。

田中村長 できるだけ早い時期から材を確保していきます。事業全体計画、実施計画によりますが、今後は村有林経営計画により実施される森林施業により搬出される素材を確保する計画です。現在行われている林業専用道路支障木等で搬出される素材丸太の中で適したものがあれば積極的に確保していく予定です。

問 施設内の遊具等については、木材を利用したものを取り入れていくべきと考えます。また、暖房についても薪ボイラーを取り入れるべきだと思いますが、村長の考えを伺います。

田中村長 安全性や耐久性等を考慮した中で木材を利用した遊具などを検討します。また、薪ボイラー導入については、村の木質バイオマス資源の有効活用や、エネルギーの地産地消や雇用の創出につながることから導入について検討します。



大谷元江議員

占冠地区の集落対策

1 占冠地区の集落対策

問 占冠地区は高齢化が進んでいて、若い人の定住を望んでいます。中央地区に通勤するにも5分ほどで住環境には最適です。土地を確保し、分譲・住宅建設をしてほしいと思いますが伺います。

田中村長 集落の定住促進のために良好な住環境の整備が必要です。空き家バンクの活用、土地の分譲についても村有地の斡旋等を積極的に進めていきます。

問 定住・移住についてはいつも後手の状況ではないかと考えますが、伺います。

田中村長 占冠地区は地域協働ボランティア活動が定着しています。今後も活動に必要な支援をしていきます。

問 地域活動も高齢化が進み、50代後半から70代が活動している状況です。若い人が入ってこない地域活動も継続できません。村長の考えを伺います。

田中村長 全村的に取組みが必要だと思いますが、現状で即時対応できる環境が整っていないと思っています。占冠地区にお

いても定住する方がいれば土地を含めて積極的に支援していきます。

問 新年度に保育所建設に向けた設計が始まります。建設場所に旧占冠小学校の土地を提案します。村長の考えを伺います。

田中村長 保育所の建設場所については、皆様と協議を行い決定したいと考えていますが、利用者の利便性を鑑み、中央地区の方向で検討を進めたいと考えています。

問 公共施設の分散化、土地の有効活用で人の流れを作ってほしいと思いますが、考えを伺います。

田中村長 利用者の利便性を考慮することが現状において必要だと思っています。様々なところに住むことも必要とは思いますが、地域の方向性に沿った形で進めようと考えています。

問 占冠地区の現況は、公営住宅の空きもなく、土地の分譲もないため、移住は不可能です。移住・定住に必要なものの提示をしてほしいと思いますが伺います。

田中村長 いろいろな希望等が

村に挙がつてきています。相談しながら提示をしたいと考えています。

2 学校給食の無償化

問 国の政策として授業料の無償化が議題になっています。村の子育て支援策として学校給食の無償化をどのように考えているか伺います。

田中村長 現在、一定の所得基準を下回る世帯に対しては自己負担が生じないように無償化しています。給食費は月額5千円程度の負担で、全国的に見ても妥当な金額ですので、全体的な子育て支援策を進めていきます。当面の子育て支援策は、延長保育の充実や保育所の建設などの緊急性の高いものから進めていきます。

問 村独自の子育て支援策として無償化を進めてほしいと考えますが、教育長の考えを伺います。

藤本教育長 学校給食の無償化は村の執行方針と関わってくることです。国の方向性が見えた段階で行政が判断していくものと認識しています。

問 現在、富良野広域で給食が

作られ配食されています。村独自の方式で行ってはいかがですか。

田中村長 給食センターの建設は学校給食実施基準で詳細に決められています。過去、広域センター方式を選んだのは、広域化により施設運営及び行政運営の効率化が図られ、総合的に有利と判断したためと考えます。

問 学校給食だけでなく、高齢者や保育所園児にも対応できる建物の建設はいかがですか。

田中村長 地域で需要が出てきたときには行政として可能性を検討することもあると思います。



中央小学校の給食風景



佐野一紀議員

避難道路の建設

1 避難道路の建設

問 避難所（占冠中学校への）避難道路の必要性は、村とも共通認識に立っていると考えています。現存する神社側からの道路のみでは、神社側は大雨時法面崩壊した経緯がありますし、また、運動公園側は砂利道であり、雨が降れば路面の砂利が流失し、通行不能になると思います。村長の考えを伺います。

田中村長 避難路の必要性については、現行道路のみでは不安であり、代替路は必要であることで議会とは共通の認識に至っていると考えています。

問 避難路を川側に近づけるとは危険であるとのことですが、緑橋下流域から千歳橋上流にかけて擁壁による浸食防止の防災工事が施されており、一定の安全性は確保されていると考えますが、伺います。

田中村長 河川の護岸工事はされていると承知しています。避難道路を河川側に近づけることは、河川の水位が上昇した際に、浸食などの危険性が増すことになることから河川側から遠ざける必要があるのではと考えています。

ます。

問 現地踏査を行う中で調査し、成案を作り上げていくべきと考えます。3点について伺います。

1点目、中学校付近の現存する道路のすり付け箇所からの勾配率、道路の距離数等について測量会社等の調査を実施し、数値を示してほしい。

2点目、道路の舗装工事の予算額について概算でいいので示してほしい。

3点目、着工はいつからで、いつ頃終わるのか。段階的なスケジュールで目途はいつなのか伺います。

田中村長 再度、現地調査を実施し、調査の上成案を示すべきとの意見ですが、雪解けを待つて専門家・技術者を交えた中で再検討し、村・議会と一緒に現地踏査をしながら最終的な判断をしていきたいと考えています。

2 河川の立木処理

問 河川内の立木は氾濫の起因となることから、千歳橋から青巖橋までの伐木処理について、関係機関に要望すべきと考えます。併せて、トマム18線橋下流

についても一昨年の水害の被害木処理を要望してほしいと思いますが、伺います。

田中村長 千歳橋から青巖橋までの立木処理は、北海道の事業により、平成26年度、28年度に千歳橋下流620メートルを実施しています。青巖橋上流150メートルの区間は未実施のため、現在、北海道に要望しています。

トマム18線橋下流域の被害は北海道に要望してしまして、平成30年度に事業要求する回答をいただいています。



トマム18線橋下流域の立木

3 雪害による避難暖房対策

問 全国各地で雪害に見舞われ

ています。北海道でも記録的な大雪になった地域もあります。雪害対策も必要ではないかと考えますが、大雪による交通障害、着雪等による停電などの際における避難所の暖房対策について伺います。

田中村長 吹雪、吹き溜まりには道路管理者、警察との連携を密にし、交通障害の解消、交通路線の確保に努めます。

停電時の対応については、占冠中学校、トマムコミュニティセンター、占冠消防支署の発電設備がある避難所に燃料及び暖房を確保、長期化を予想して寝具、食料を確保します。また、独居老人を含め、安全確保を必要とする家庭については、避難所への避難を促し、安全確保に万全を期していきたいと思っています。

4 施設の長寿命化

問 村の施設で屋根の塗装の劣化が進んでいる施設があります。早急な対応策を伺います。

田中村長 塗装の劣化が目立つ施設については、劣化状況を確認し、年次計画で実施していきます。



あき とし
長谷川耿聴議員

クラブメッド・トマムの開業

1 クラブメッド・トマムの開業による今後の対応

問 1月17日の開業によりトマムリゾートは新しい時代を迎え、世界への伸展を目指すこととなりました。村も対応を急ぐ課題が生まれていると思われま。救急を含む医療体制について伺います。

田中村長 救急搬送の状況は236件の出動中、トマム地区が139件でその他が97件です。リゾートへの出動は126件で全体の約53%を占めています。現状を説明し、企業自らが医師や看護師を配置するよう申し出をしました。

問 トマムはたくさんの住民が生活する地域になります。商店問題について伺います。

田中村長 ミナ・トマムの運営を支援していますが、リゾート内にコンビニの出店が決まりつつあると聞いています。

問 村全体を見据えたゴミ処理の方針を伺います。

田中村長 埋め立てられているゴミには資源ゴミが多く含まれていますので、村民や事業者の意識向上を図る必要があります。

占冠村ごみ減量化対策推進委員会がごみ処理基本計画を報告する予定です。

問 国際化が進んでいくことについてどのように考えているかを伺います。

田中村長 地域の国際化が進むことで行政の役割も多様化・高度化するものと考えています。リゾートと一本化した窓口体制を整えると共に、道路標識や道の駅での情報提供についても対応を考えていきたいと思っています。

問 トマムでの住民ワークショップは3回目の開催を迎えますが、リゾート関係者の意見を反映しなければ意味がないと思います。村長の考えを伺います。

田中村長 リゾート関係者の参加が少ない状況でしたが、ヒアリングや住宅に関するアンケートを実施し、意見を把握しました。ぜひ定住に結び付けたいと考えています。

2 一般会計の財政推計

問 平成28年度の決算では、前年まで約17億円あった基金が6億6千万円しかなくなりました。基金がなくなると村の財政

も立ち行かなくなります。この状況について村長の考えを伺います。

田中村長 平成28年度決算において災害による歳出増・交付税の減額で基金を減少させることとなりました。経常経費の削減や一般財源の確保により、基金の取り崩しが最小限になるように努めたいと考えています。

問 健全化判断比率の将来負担比率が上昇してきています。公営企業会計も公営事業会計もないのでなぜこのような状況になるのか理由を伺います。

田中村長 地方交付税の減少と基金の取り崩しによる充当可能財源の減少によるものと考えられます。

3 保小中一貫教育の推進

問 平成30年度から中央地区の小中一貫教育がスタートします。ここに保育所を加えて保小中一貫教育を推進してはどうか。その理由を何点が提案しますのか。その理由を伺います。

田中村長 1点目、建設場所について。新築予定されている保育所を中学校に併設してはいかがですか。

校との一貫教育体制作りを最優先課題としていきたいと思っています。中学校に併設は私の頭の中にはありません。

問 2点目、災害面から。中央市街は大水害を経験しています。人命尊重の観点から安心・安全なところに建設すべきだと思いますがいかがですか。

田中村長 利用者の利便性から中央地区に建設する方向で検討しています。今後は様々な方と協議しながら決定したいと考えています。

問 3点目、財政面から(後世に負の財産を残さない)。新築は相当な財政出動が予測され、将来的に維持管理費がかかりま。少子化が進む中、ハコモノ建設は慎重に考えた方がよいと思いますが、いかがですか。

田中村長 保育所の建て替えは妥当だと判断していますし、人口推計を含めますとどういった規模が必要かの議論は必要で、私としては0歳児保育から入学までの子育てを支援できる施設を目指したいと考えています。また、必要以上にお金をかけないように考えています。

村政執行方針 質疑

(主な施策)

①未来を拓く村政

- ・総合計画の策定
- ・機構の見直し
- ・保育所建設
- ・地方創生

②経済循環が図られる基幹産業の振興

- ・農業振興・担い手対策
- ・道営草地整備事業
- ・村有林の管理・計画
- ・私有林の育成支援
- ・林業事業体への支援
- ・林業の六次産業化
- ・商工振興
- ・トマムリゾート
- ・道の駅
- ・湯の沢温泉
- ・サイクルツーリズムの推進
- ・ニニウキャンプ場
- ・新エネルギーの推進

③地域特性を生かした主策
対策、移住・関係人口の
増加

- ・移住・定住・集落対策
- ・しむかつぶ・村づくり
- ・寄附金

佐野一紀議員

1 湯の沢温泉

問 温泉関連機器については、

金属疲労するものであり、配管類は腐食、亀裂ができることもあります。定期的な保守点検・検査をしなければいけません。休館日が多すぎるといいう指摘もありますので伺います。

田中村長 泉質の定期的な水質

検査があり、一定程度の検査日程が必要なことからあらかじめ休館日を長くしているのが現状です。



湯の沢温泉(宿泊棟)

問 平成29年度は修繕料として150万円計上されていますが、故障・検査に対応できるのか。毎年この程度の修繕料が必要なのか伺います。

田中村長 機器類点検は部門ご

とに事業者点検と専門的な業者を踏まえて行っていて、30万以下が事業者対応、それを超えるものは村が対応する契約になっています。予算計上は、可能性の範囲内で計上しています。

問 宿泊棟の整備、管理状況は

どうなのか。トイレの洋式化の対応について、トイレのスペースがあれば宿泊等に一器増設してはどうか、伺います。

田中村長 宿泊棟の整備は、一

定程度清掃等は行っています。が、立派なものとは言えないのが現状です。トイレの洋式化については、調査は行いましたが、根本からの改善・修繕が必要なことから、予算のこともあり現在の状況になっています。

問 優れた泉質を生かしながら

四季折々自然を満喫できる森の一軒宿で、体感的に温まるとりピーターもいると聞いています。満足度を高める対応を伺います。

田中村長 温泉の満足度などを

含めて利用状況は年々増加している現状です。村内利用については、若干減少しているのが実態であり、村内の皆様にもぜひ利用いただけるように施設運営・管理をしていかなければと考えています。指定管理者とは連携を密にしながら、より良い施設運営・改良・改善を取り進めていきたいと考えています。



50年以上経過している占冠保育所

長谷川耿聰議員
あきとし

1 財政の効率化

問 「必要なところへは予算配

分し、効率化を図りつつ財政の健全化を保つ」の意味するところを伺います。

田中村長 内容や必要性、費用

対効果を判断して予算配分し、



- ④暮らしの基盤づくり
 - ・道路改築
 - ・村営住宅
 - ・上下水道
 - ・環境衛生
 - ・地域交通
 - ・地域協働への取組
 - ・防災対策
 - ・高齢者福祉
 - ・障害者福祉
 - ・保健・医療
 - ⑤未来を託す子どもの環境づくり
 - ・子育て支援環境の整備
 - ・多様化する教育環境に対応した体制整備
 - ・特色ある教育
 - ⑥行財政概要
 - ・行財政の運営
- 執行方針の詳細は、村広報4月号に掲載されています。

財政運営をしていきたいということです。

2 持続可能な地域づくり

問 「基幹産業間で経済循環を図る」の意味するところを伺います。

田中村長 農業・林業・観光という村の基幹産業を互いに連携させ、地域の経済循環を図っていくということです。

3 総合計画

問 平成30年度で終了する総合計画は、今後どのようにするつもりか伺います。

田中村長 業者委託せずに自前で策定したいと思っています。委員会の立ち上げについては、現在詰めている状況です。

4 機構の見直し

問 機構の見直しと職員の定員適正化計画について村長の考えを伺います。

田中村長 機構の見直しについては、村づくり検討委員会に委嘱し、2月19日付けで回答を受けています。28年から32年度の定員適正化計画では計画人員が

56人で、現在は54人ということとで適正に計画をしていきたいと考えています。

5 保育所の建設

問 保育所の建設については、一般質問で申しましたが、子供の減少していく状況をどのよう

に考えていますか。
また、地方創生における村の基本方針で述べられている「若い世代の結婚、出産、子育て」ということを村長はどう考えていますか。

田中村長 子どもの人口増についてはぜひ取り進めたいと考えています。
若い世代の結婚、出産、子育てについてはリゾート関係者の中では可能性があると思っています。いろいろな環境づくりを進めたいと考えています。

6 農業

問 農業関係で記載がある整備面積94.7haについて説明を伺います。

田中村長 既存の農業者が使用している草地を整備するという内容のものです。草地整備希望農家数は5戸です。

7 林業

問 林業の六次産業化でキハダとホオノキの検討について伺います。また、道産材を煮して牛の餌に使うことについて考えをお聞きます。

田中村長 キハダですが、夕張市の取組みを見ながら検討していきたいと考えています。牛の餌ですが、本年度予算において議会調査費を計上しながら、村も同行して内容を検討していきたいと考えています。

問 アライグマ対策について伺います。

田中村長 被害の発生がみられるということで、現在は罠をかけて捕獲に努めています。

8 新エネルギーの推進

問 新エネルギーの推進検討委員会での検討内容を伺います。

田中村長 検討状況については、本年2月に北大の山中教授から薪生産による村内経済への波及効果は大きいのではないかとご紹介いただいたところです。また、占冠保育所の建設にあたり、薪ボイラー導入を見据えて勉強会を実施している状況です。

9 地域交通

問 むらびと交通の改善について、村長の考えを伺います。

田中村長 平成30年度に片内プロジェクトチームをつくり、村全体の交通体系を含めて検討していきたいと考えています。

10 防災対策

問 水害時の早期避難方法について考えを伺います。

田中村長 防災タイムラインの導入を検討しながら、早めに避難することを優先していきたいと考えています。



雑食性で農業被害が甚大

11 行財政の運営

問 財政において、財政調整基金の減少が気になります。村長の考えを伺います。

田中村長 歳入に見合った歳出を基本として将来を見据えた財政運営をしていきたいと考えています。

問 住民がいつまでも住み続けたいと思う環境づくりについて伺います。

田中村長 医療、交通、福祉、教育、子育て等いろいろな面で、住民の皆様が暮らしやすく住みやすい環境を作っていきたいと考えています。

五十嵐正雄議員

1 新規就農者対策

問 新規就農者が増えていきます。この機会を逃すことなく、意識・意欲のある方々を育てていくことが村の任務です。具体的な取組みを伺います。

田中村長 新規就農者ができるだけ利用できる支援事業や補助制度を既存の中で拡張しながら

改正・改善を図ります。きめ細やかな聞き取りを進め、必要に応じて支援事業を検討します。

2 哺育育成センター事業と農家負担は

問 事業の中身と農家負担はいくらになるのか伺います。

田中村長 道営公共牧場事業で、哺育育成センターの施設整備には、富良野沿線で1千haの草地面積が必要であり、串内牧場で460ha、富良野管内で815haの草地整備を行います。占冠村は5戸の農家で94.7haとなつています。農家負担は国道が75%、受益者が25%で、概ねhaあたり20万円が農家負担となります。

3 森林環境税

問 平成31年から森林環境税が導入され、森林整備譲与税として自治体に配分されます。配分方法に大きな問題があります。国・道・市町村の配分を多く抱える自治体には配分の算定が入っていない。今後は配分方法の改善を求める取組みが必要かと思ひます。村長の考えを伺ひます。

田中村長 31年度から交付予定となつていて、森林が94%を占める占冠村としても大きな期待を寄せた税目でしたが、民有林の人工造林地の整備が主目的のため、税収が期待できない状況

です。森づくりを進めるうえで、総体的な税の使い方を含めて、村としても町村会と調整を図りながら改善に向けて要望を続けていきます。

4 林業の担い手育成

問 森林・林業が村の基幹産業であるためには、働く人たちの雇用・労働条件の改善、事業体の育成が必要です。今後の取組みを伺ひます。

田中村長 村内事業体での雇用が増加している環境にはなっていない。事業体で雇用ができる環境づくりが必要です。民有林・村有林だけで事業確保が難しい中で、国・道・市町村にも働きかけ、仕事ができるように連携を図っていきます。

5 林業六次産業化

問 将来を見据えた取組みをしていくために、庁内の現状の総括をして取り組むべきと思いますが、村長の考えを伺ひます。

田中村長 外部からのノウハウを入れながら課題をピックアップして、解決していくという方法で進めています。地域の目指す方向として、外からの視点で

の林業・林産業の振興、ビジネスを含めて商業化をしていくこと、マーケティング等に精通した販売支援を進めていきます。

6 道の駅横の民地対策

問 村長も変わりましたので、早急に民地の買収を進め、開発に着手すべきと思いますが、村長の考えを伺ひます。

田中村長 花壇として使用することについては了解を得ていますが、もう少し時間をいただきたい。村づくりの中身、道の駅の状況等を含めて説明し、前に進めたいと思ひます。

7 住民の足の確保

問 多くの住民から足の確保について要望が出されています。早急に検討し、住民の立場に立つた対策を講ずるべきと思ひますが、村長の考えを伺ひます。

田中村長 今の地域交通は使いづらいと色々な方から言われています。新たな交通体系を検討するにあたっては、全庁的なプロジェクトチームを立ち上げ取り組んでいきます。



森林調査の様子

村政執行方針質疑

問 新規就農者が安心して就農できる体制について、今年はどう

2 新規就農者

問 村民が住み続けたいと思える村づくりの具体的な内容を伺います。

田中村長 総合計画は、村びと条例の第26条で最上位計画と位置付けています。既存の個別計画とそれぞれの整合性を図りながら作っていきます。計画を作るにあたっては、業者への委託業務は行わないで自前で策定していきます。

1 住み続けたいと思える村づくり

工藤國忠議員

メーブルシロップ(トベニラッカ



のような体制を計画しているのか伺います。

田中村長 本村には新規就農等

支援対策事業や農業振興事業補助、農業貸付事業、畜産安定化事業、肉牛資質改良増殖事業など様々な制度がありますので、農業者によつては状況が変わるものもあります。これらを含めて聞き取りしながら検討し、新規就農希望者が利用しやすいような内容を検討し、改正・改善を図りながら支援をしていきます。

3 ボイラーの有償貸付

問 今年度よりボイラーの設置を希望する新たな入居者に有償貸付を実施するということが、既に入居している方が希望した場合はどうするのか伺います。

田中村長 初年度ということで新たに入居する方から希望があれば貸付していきたいと考えています。貸付料は、月額5千円程度を予定しています。

4 環境衛生

問 一般廃棄物処理基本計画の策定はいつごろまでに行うのか伺います。

田中村長 一般廃棄物処理の基本計画は、現在、精力的に会議が行われており、3月30日に報告されることになっています。

大谷元江議員

1 保育所の建設

問 保育所建設には住民と意見交換をするとのことですが、考え方を伺います。

田中村長 利用者の利便性や希望に沿った形で建設場所を決定していきたいと考えています。

2 集落対策

問 集落対策について、占冠地区においては検討される計画がありますか、伺います。

田中村長 それぞれの地区の特性を生かした中で地域活性化を含めて期待に沿えるものにしたと考えています。

3 環境衛生

問 ごみ減量化対策推進委員会から報告されたものを住民にどのように周知していくのか伺います。

ます。

田中村長 策定以降、住民周知を図りたいと思っています。情報提供と分別収集の徹底も早い段階から行っていきたいと思っています。



下トマム最終処分場

4 防災対策

問 ハザードマップの更新が必要だと考えます。また、教育的な側面からも、子供の目線で防災対策も協議する必要があると思いますが伺います。

田中村長 河川管理者が新たな防災浸水区域等の調査を始めるということなので、河川管理者が取り進めた内容を反映できるものを使った防災マップの見直

しは必要、だろうと思います。全戸に配布している防災のしおりも作り直して全戸配布の検討を進めていきたいと思っています。

5 ニニウキャンプ場

問 ニニウキャンプ場の水源について、ボーリング調査の結果を伺います。

田中村長 現在の調査箇所は使えないという判断をしていました、別の箇所でも検討を進めたいと考えています。本年度も給水車の給水が必要になるかもしれませんが、利用者も増えている状況ですので水源を確保していきたいと思っています。



ニニウキャンプ場

教育行政執行 方針質疑

(主な施策)

①学校教育の充実

- ・ 確かな学力の育成
- ・ 豊かな心の育成
- ・ 健やかな体の育成
- ・ 地域と共に歩む学校づくりの推進
- ・ 就学機会への支援

②社会教育の充実

- ・ 家庭教育の推進
- ・ 生き生きと学ぶ生涯学習の推進
- ・ 芸術文化の振興
- ・ スポーツの振興
- ・ 社会教育施設の充実

執行方針の詳細は、村広報4月号に掲載されています。

長谷川 耿聰あきとし議員

1 確かな学力の育成

問 確かな学力の育成の中に、「個々の能力に応じたきめ細かい指導の充実に向け取り組んでまいります。」とありますが、具体的に説明してください。

藤本教育長 少人数なので学力や得意・不得意を的確に判断でき、ますので、小中一貫教育の中で寄り添った指導をもう少し深く行いたいと考え、このような表現にしました。

2 芸術文化の振興

問 外国人の方々も振興に組み



占冠村伝統芸能・占冠神楽

入れられないかと考えています
が、考えを伺います。

藤本教育長 日本の伝統文化、勉強も含めて、少しでも在籍している間に地域を通じて、村の伝統文化を知ってもらえるような教育ができたかと考えています。

五十嵐正雄議員

1 教職員の働き方改革

問 占冠村での働き方改革について、具体的に伺います。

藤本教育長 平成29年度から働き方改革に関する方向性を見出したということ、各学校に実際の教職員一人ひとりの勤務の実態調査をしました。実態を踏まえて、平成30年度から夏休み期間中に年休を連続して取得できるようにしました。部活動については、指導の先生を何人かに分けて一人の先生だけに負担がかからないようにしていきます。

問 教育研究がたくさん与えられていて、それらの調査・報告が多くあり、そのために夜遅くまで資料提出のための作業をし

ているという現状があります。
これらの改革を伺います。

藤本教育長 校長会の中で教頭先生、あるいは一部の先生に負担がかかるのではなく、少しでも勤務時間の縮減に向けた取組みが進むように、引き続き指導していきます。

2 文化・スポーツ功労者表彰

問 長年にわたって文化・スポーツに取り組んできた人たちに、村として何らかの形で表彰すべきと思いますが伺います。

藤本教育長 長年苦勞された指導者の表彰については、村長とも相談していきます。



フロアカーリング愛好会

3 太鼓活動の復活

問 32年間続いた青巖太鼓が幕を下ろしました。太鼓文化の復活をどのように進めるのか伺います。

藤本教育長 社会教育と話した中で、学校だけということではなく、一般の人も含めた中で新たなスタートができるように検討していきます。

4 体育協会の役目

問 体育協会が中心になって地域にスポーツ活動を広め、地域に根差していくことが必要だと思いますが伺います。

藤本教育長 各団体のまとめ役ですので、占冠村のスポーツのあり方について相談・検討します。

大谷元江議員

1 生活習慣の改善

問 「年齢に応じた望ましい生活・運動・食の習慣の確立に向けて、生活習慣の改善に取り組んでいく。」とありますが、どの

教育行政執行方針質疑

ようにしていくのか伺います。

藤本教育長 食生活や給食・食育を通して活動、栄養指導、生活習慣を踏まえたガン教育の指導等、病気の予防を含めた授業をしています。

2 郷土学習

問 「地域の資源を教育活動に生かし、郷土に学び、郷土を愛する心を育むために教育活動全体を通じて積極的に活用して学習します。」とありますが、どのように資源を活用するのか伺います。

藤本教育長 総合学習の時間において化石等を利用して占冠の歴史学習を行ったり、土曜学習や川の学校・山の学校・雪の学校など実際の体験を通して活動していきます。地域の方々と一緒に活動して行うふるさと学習も行っています。

問 地域の教育資源として郷土資料館があり、3箇所に点在していますが、統一できないのか伺います。

藤本教育長 各地域の思いもありますので現時点ではできませんが、子どもたちが見て・触れて・話してもらうといった時間

は必要だと思っています。学校とも連携して調整したいと思います。

3 家庭教育講座

問 家庭教育講座は月1回の開催ですが、参加人数が非常に少なく感じます。開催の方法等についてもう少し考えるべきと思いますが、伺います。

藤本教育長 PR、チラシでの周知等啓発を充実させていきます。



家庭教育講座



意見書を提出

村民の声を
国政の場に

○ 核兵器禁止条約に速やかに署名し批准することを求める意見書

唯一の被爆国として核兵器禁止条約に一日も早く署名・批准すること。それまでの間は、オブザーバーとして締約国会議及び検討会議に参加することを要望する。

○ 地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書

一般職非常勤職員への移行にあたっては、現に任用されている臨時・非常勤等職員の雇用確保及び労働条件を維持するよう、各自治体に対し適切な助言を行うこと。パートタイム労働法の趣旨を一般職非常勤職員に適用させるよう、更なる地方自治法の改正を行うことを要望する。

○ 障がい児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書

障がい児者が「暮らしの場」を選択できるよう、グループホームや入所施設・通所施設などの社会資源を拡充し、福祉人材を確保すること。入所機能を備えた地域生活支援拠点を国の責任で整備すること。障がい者関係予算を大幅に増額し、施策の重要な担い手になっている地域公共団体に財政支援をすることを要望する。

議会はどこからでも気軽に傍聴することができます

傍聴するのに特別な服装や準備は必要ありません。途中入場や途中退場も自由です。傍聴人は自由に写真やビデオを撮ったり、録音することができます。議場は総合センター(役場庁舎)3階です。お気軽においでください。

今後の
予定

6月定例会→6月14日(木)・15日(金)

※いずれも午前10:00開会
※議事内容等により、日程が変更する場合があります。



子育て支援の充実へ 保育所建設に向け 調査費を計上

平成30年度

予算特別委員会

平成30年度 各会計別予算 【万単位以下切り捨て】

会 計 別		予 算 額	前 年 度 比
一 般 会 計		25億2800万円	0.80%
特 別 会 計	国民健康保険	1 億6880万円	7.24%
	村 立 診 療 所	8900万円	▲ 0.56%
	簡 易 水 道	1 億410万円	3.07%
	公 共 下 水 道	1 億970万円	5.48%
	介 護 保 険	1 億600万円	▲ 2.48%
	後 期 高 齢 者	1980万円	14.45%
	歯 科 診 療 所	2070万円	▲ 1.43%
予 算 総 額		31億4610万円	1.26%

予算特別委員会（佐野委員長）を3月13日に開催し、活発な質疑が展開されました。質疑の内容をお知らせします。
 （傍聴者0人）

一般会計

◎歳入

問 地方特例交付金が前年対比9万円増額の理由を伺います。

また、地方交付税の普通交付税が2千万円増額した理由を伺います。

多田総務課長 地方特例交付金の9万円増額は、前年実績を勘案して増額しました。

地方交付税の普通交付税が2千万円増額した理由は、売却したりゾート施設の過疎地税制適用に伴う固定資産税減免分の交付税算入等です。

問 住宅使用料が前年比163万4千円減額の理由を伺います。

小林産業建設課長 昨年12月分の家賃を基に積算し、入居者も減っていたため減額しました。

問 子どものための教育・保育給付費国庫負担金の減額理由を伺います。

伊藤保健福祉課長 国が定める算定基準から村の保育料収入を差し引いて交付されることから、実績見込みを勘案して計上

しています。

問 農林業費国庫補助金が前年度500万円から0円の理由を伺います。

今野林業振興室長 国のメープルシロップ事業が平成29年度で終了したためです。

問 北海道地域自殺対策緊急強化推進事業道補助金332万2千円の事業内容を伺います。

伊藤課長 平成30年度までに全市町村で策定を義務付けられていることから計画を策定するものです。

問 生産物売払収入の木炭で昨年の半分の売上げを計上した理由を伺います。

今野室長 販売実績に合わせて減額しました。

問 村営住宅等給湯器貸付料30万円の貸付経緯を伺います。

小林課長 村営住宅等給湯器貸付料の経緯は、住民懇談会等でポイラー設置の要望があり、入居者の費用負担軽減のための予算計上です。

問 地域観光活性化促進事業補助金が減額された理由と成果を伺います。
(長谷川議員)

三浦企画商工課長 北海道観光振興機構に単年度の支援を受けてサイクルツーリズムの事業を実施しました。冬でも走る自転車ドマムのゲレンデを走り、募集定員は満員で終了しました。

問 児童福祉費国庫補助金で地域子どもの未来応援交付金263万4千円の使途を伺います。

伊藤課長 子ども子育て支援事業計画の策定に向けた基本調査とアンケート実施を行います。

歳出

総務費

問 地域おこし協力隊関連業務委託料の256万1千円の内容と委託先を伺います。

三浦課長 委託先は、北海道観光まちづくりセンターで地域おこし協力隊員の日報を報告し、アドバイス、事業化に向けた研修会を開催して、フォロー全般をしています。
(五十嵐議員)

問 旅客自動車運送事業の委託料3177万3千円は、運転手何名を積算根拠としているのか伺います。
(五十嵐議員)

小林課長 6名で積算していて、この委託料は5年契約で平成30年度が最終年です。

問 支所費のトマム地区公園整備工事291万6千円は、今年で完成なのか伺います。

平川トマム支所長 昨年春に基本計画図を策定し、ワークシヨップを開催して周知しました。公園エリアを3つに分けていて、今年度はミナ・トマム工

リアを実施し、村の財政を考慮して年次計画により、整備していきます。

問 戸籍住民台帳費の委託料で住基ネットワークシステム機器更新委託料351万6千円と使用料及び賃借料で93万7千円がほぼ毎年計上されている理由と共同利用料とは何か伺います。

伊藤課長 住基ネットワークシステム機器更新委託料は、平成25年10月に更新し、5年目となることからシステム更新をするものです。共同使用料は、南富良野町との利用により、毎年必要経費の計上をしています。

問 富良野広域連合の負担金が企画費から移行した理由を伺います。
(長谷川議員)

多田課長 富良野広域連合負担金は、この度の機構改革により、総務担当に事務を移行することとなりました。

問 総務管理費の委託料で顧問弁護士委託料が昨年と同額計上されていますが、依頼案件について伺います。
(長谷川議員)

三浦課長 毎月の委託料が32万4千円で、今後、想定外の事態



携して村のPR事業を行うものです。

問 全国公民館振興市町村連盟負担金が計上されていますが、教育費での計上ではない理由を伺います。
(長谷川議員)

三浦課長 全国公民館振興市町村連盟負担金は、市町村長名で登録されていて、移行しました。

問 雇用奨励金の内容を伺います。

三浦課長 雇用奨励金は、1件分の24万円を計上しています。
(長谷川議員)

問 ミナ・トマム運営補助金が24万5千円減額された理由を伺います。
(長谷川議員)

三浦課長 ミナ・トマム運営補助金は、昨年度の実績ベースで減額しました。

民生費

問 児童福祉総務費の委託料で

トマム地区公園予定地



子ども・子育て支援事業計画策
定支援業務で351万2千円が
計上され、実施に向けて住民意
見や関係団体の考え方を聴取し
策定されるべきと考えますが伺
います。
(五十嵐議員)

伊藤課長 この計画は、平成31
年度に計画の見直しを行うにあ
たり、アンケート調査を行うも
ので、子ども・子育て会議の中
で検討されます。

問 小規模多機能型居宅介護施
設（とまろ）で1千万円増額
の理由を伺います。

(長谷川議員)

伊藤課長 小規模多機能型居宅
介護施設指定管理料は、前年度
より登録利用者数の減、介護度
の軽度化による報酬の減が要因
で、人件費の上昇や運営上必要
経費の増額が要因となります。

再問 小規模多機能型居宅介護
施設で増額は人件費増と利用者
の変動が要因ということですが、
人件費増額の理由と利用者が
どれだけ減ったのか伺います。

(長谷川議員)

田中村長 現状の登録人員の介
護をするために2名の増員を社
会福祉協議会から求められまし
たが、登録人員の減から1名の

増員を容認しました。また、人
員確保が難しい環境にあるので、
職員の待遇改善も認めました。

問 地域福祉計画策定支援業務
委託料で526万円計上の内容
を伺います。
(長谷川議員)

伊藤課長 地域福祉計画策定支
援業務委託料は、住民・行政が
一体となり、共に支えあい、助
け合う地域づくりを進めるため
策定されます。

問 社会福祉協議会の余剰金が
あるのになぜ増額になるのか伺
います。
(長谷川議員)



とまろの様子

田中村長 余剰金は現状で10%
ほどであり、平成29年度はほと
んど残らない状況です。今後、
村の財政状況を鑑みて、支障を
きたさないように現場とも十分
協議しながら対処していきます。

問 社会福祉総務費で保健福祉
センター花壇整備、消防用設備
点検、地下タンク点検委託料等
はありますが、保健福祉センター
管理委託料はありません。社会
福祉協議会の運営補助金の中に
保健福祉センター管理委託料が
含まれているのか伺います。

(大谷議員)

伊藤課長 保健福祉センターの
管理委託は社会福祉協議会で事
務処理をしています。

問 扶助費の福祉灯油で162
万円の根拠と支給時期を早めら
れないか伺います。(大谷議員)

伊藤課長 福祉灯油は1万8千
円×90名分で積算しています。
支給の時期は12月1日現在の灯
油単価で取り組んでいきます。

問 小規模多機能型居宅介護施
設の保守点検委託料で43万2千
円が計上されています。建設当
初、施設点検を含めた費用はほ
とんどかからないと説明されま

したが、どのような点検内容か
伺います。
(五十嵐議員)

伊藤課長 冷暖房設備のメンテ
ナンス費用で、毎年点検が必要
となります。法に基づく点検で
はなく、日々の施設設備の点検
業務です。

衛生費

問 後期高齢者医療費の温泉施
設利用料助成は、利用実績によ
り減額されました。巡回バス
の運行次第では利用が促されると
思いますが、方策を伺います。
(大谷議員)

伊藤課長 巡回バスの案内を交
付時にしていますが、範囲拡大
には経費も新たにかかるることか
ら検討します。

小林課長 双珠別方面から巡回
バスの運行利用ができないか、
今後、路線の変更を検討したい
と思います。

農林業費

問 農業振興費の新規就農対策
補助金で260万円増額計上の
理由を伺います。(長谷川議員)

小林課長 施設整備を希望して
いる農業者が2戸と新規就農予
定者1名分と4月から新たに就

農される1名分の経費です。

問 林業振興費の委託料で村の
木活用事業委託料が大きく減額
された理由と今後の展開を伺い
ます。
(長谷川議員)

今野室長 国のメーブルシロッ
プ事業が平成29年度で終了した
ため減額し、引き続き事業を行
うため98万円を計上しました。

問 木炭管理委託料は歳入歳出
のバランスが悪く、管理委託料
が50万円減額され、売上収入が
35万円と昨年の半分になった実
態を伺います。
(長谷川議員)

今野室長 木炭製造は、これま
での村内での販売経過と歴史を
勘案して、需要と供給の balan
sを考えました。

問 狩猟的価値発現による林業
六次産業化推進事業の内容を伺
います。
(長谷川議員)

今野室長 多種の森の恵みを総
合的に商売と結び付けて、地域
商社の設立準備をします。

問 アリサラップ支線開設事業
で林道計画の内容を伺います。

今野室長 道営森林管理道アリ
サラップ支線開設事業は、地域

予算特別委員会質疑

森林計画に基づく民有林振興の林道です。

問 木質バイオマスエネルギー導入促進事業の展望策を伺います。

今野室長 木質バイオマスエネルギー導入事業は、今後公共施設への導入計画もあり、拡大されるものと考えます。

問 人工造林（新植）工事費の具体的な内容を伺います。

今野室長 上トマム地区の皆伐箇所への新植工事で、面積は新植で4ha、皆伐部分で2.5ha、間伐部分は約52haです。モデル地区的伐採は、間伐ではなく高齢級の人工林の更新材のため、新植面積には含んでいません。

再問 昨年、間伐が遅れている中で高齢級の造林地改良を行いました。人工造林の植栽にあたっては、地拵え作業で枝条整理がなくなりますが、今回の工事にもどのように反映されるのか伺います。

今野室長 今回の工事は、昨年の間伐工事において枝条整理を行っていただきますので、造林経費からその部分が差し引かれます。

※枝条整理とは、苗を植える列の整理のこと。

商工費

問 観光費の委託料で湯の沢温泉指定管理料の管理形態を見直す考えはないのか伺います。

（長谷川議員）

三浦課長 湯の沢温泉指定管理料は、年々下がってきている状況です。今後、活用方策を管理者と協議し、利用促進に努めていきます。

問 観光協会運営補助金を170万円減額して、観光推進事業補助金を新設した理由を伺います。

（長谷川議員）



東京での占冠村PR

三浦課長 観光推進事業補助金は、商工会から観光協会に移行してきた経緯があり、事業内容を十分精査して遂行していきます。

土木費

問 道路維持費の原材料費245万2千円の内容を伺います。

（五十嵐議員）

小林課長 原材料費の内容は、碎石が500m³で167万4千円と、滑り止め用砂が90m³で77万7千円です。

問 工事請負費の村道北6線舗装補修工事の場所を伺います。

（五十嵐議員）

小林課長 場所は、中央地区千歳です。

問 道路維持費の道路雨水桝清掃業務の場所を伺います。

（大谷議員）

小林課長 村内の村道雨水桝で84万3千円を計上しており、宮下方面より実施します。

問 工事請負費の防雪柵設置工事の場所を伺います。

（大谷議員）

小林課長 防雪柵は、村道トマム東一号线に設置します。

問 村道測量委託料の708万1千円の内容を伺います。

（長谷川議員）

小林課長 村道測量委託料は、上トマムの村道トマム南1線であまなく食堂の裏手の砂利道で延長が138mです。

問 除雪費の増額内容を伺います。

（長谷川議員）

小林課長 除雪費の増額は、人件費・燃料費の高騰、除雪車の損料等が上がっていて、経費の見直して増額となりました。



上トマム村道防雪柵

問 遊具定期点検委託料で遊具点検の箇所数を伺います。

（長谷川議員）

小林課長 遊具定期点検箇所は、全部で6箇所です。

議会事務局職員紹介

4月1日付けで事務局員が変わりました。事務局体制は次のとおりです。

事務局長 岡崎 至可 主事 久保 璃華

よろしくお願いいたします。



議会の主なうごき

平成29年第7回定例会(12月15日)以降の議員の動向

- 12月15日(金) 広報特別委員会①(各委員)
- 21日(水) 南富良野町議会との意見交換(各議員)
- 1月 5日(金) 占冠消防出初式(各議員)
- 6日(土) 占冠村成人式(正副議長)
- 10日(水) 広報特別委員会②(各委員)
- 17日(水) クラブメッド北海道トマムグラウンドオープン(議長)
- 19日(金) 広報特別委員会③(各委員)
- 25日(木) 住民と議員の懇談会(占冠、トマム地区、各議員)
- 26日(金) 住民と議員の懇談会(双珠別、中央地区、各議員)
- 29日(月) 広域連合(消防)新年度予算説明(各議員)
- 2月 2日(金) 中学生短期交換留学事業報告会(各議員)
- 5日(月) 上川教育研修センター組合議会(旭川市～議長)
- 6日(火) 道北地方林活議連政策研究会(旭川市～各議員)
- 7日(水) 総務産業常任委員会(住民懇談会課題整理、各委員)
- J R対策要望書協議(南富良野町～議長)
- 11日(日) たけうち道議「新年交礼会」(美瑛町～議長)
- 13日(火) 富良野沿線市町村長・正副議長合同会議、懇親会(正副議長)
- 16日(金) 本間道議「新春のつどい」(富良野市～議長)
- 19日(月) J R対策要望活動(札幌市～各議員)
- 22日(木) 上川町村議会議長会定期総会
- 上川総合振興局幹部との行政懇談会(旭川市～議長)
- 23日(金) 総務産業常任委員会(各委員)
- 25日(日) ささき隆博「ふるさとの集い」(旭川市～議長)
- 27日(火) 北海道スノートラベルエキスポ、ウェルカムパーティ(議長)
- 28日(水) 議会運営委員会(各委員)

(富良野広域連合議会関係)

- 2月 6日(火) 富良野広域連合議会運営委員会(富良野市～各委員)
- 15日(木) 富良野広域連合議会第1回定例会(富良野市～各議員)

編集後記

猛威を振るった暴風
雪も去り、暖かい春の
足音が近付いてまいり
ました。

さて、田中正治村長
の就任初めての平成30年度、村の台所
を決める予算議会が3月8日から14日
まで7日間の日程で行われました。

一般会計25億2800万円、特別会
計6億1810万円、合わせて31億4
610万円の浄財を積んだ田中丸がい
よいよ出帆する運びとなりました。

田中村政執行の基本方針は、全ての
村民が報われる「生まれて良かった」
「育って良かった」「暮らして良かつ
た」そして住み続けたいと思える村づ
くりを念頭に進めてまいりますと決意
を表明しています。

村民の皆さま、どんどん村政に参画
し、皆さんと共に協働のむらづくりを
することが真のむらづくりではないで
しょうか。(長谷川)

▼議会広報特別委員会(後期)

委員長 長谷川 耿 聡
副委員長 五十嵐 正 雄
委員 山本 敬 介
委員 佐野 一 紀

<< 議会広報や議事録全文は村ホームページでご覧になれます。 >>

発行：占冠村議会 責任者・編集：議会広報特別委員会

〒079-2201 北海道勇払郡占冠村字中央 TEL 0167-56-2191 FAX 0167-56-2184 URL <http://www.vill.shimukappu.lg.jp>